

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	食道癌の横断面による壁在性は術後の無再発生存に影響する
	研究目的	食道癌の横断面における壁在性と3年無再発生存・全生存との関係について検討。
	研究対象者	2010年6月から2015年12月の期間に、術前 Stage I B/II/III(UICC)と診断され、術前化学療法を施行後に根治的食道切除術が行なわれた食道扁平上皮癌症例を対象とする。
	研究期間	西暦 2019年3月27日～西暦 2024年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	大島 貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療 科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研究 機関および各施設での研 究責任者	特記事項なし